



olive・heart

男女共同参画推進室ニュースレター

olive・heart

4月から男女共同参画推進室が新体制でスタート！

平成22年度から始まった香川大学男女共同参画への取組も4月から4年目に突入！これまでの3年間で実施した取組を踏まえ、更に新しい男女共同参画推進室へと成長を遂げたいと思います。学生のため、職員のため、教員のために、『学びやすく、働きやすく、教えやすい』環境作りを実現すべく邁進いたします。

これからの推進室にご期待下さい！



Afternoon Meeting Vol.2のご案内

Afternoon Meeting Vol.2が5月14日(火)に開催されます。今回は非常勤職員の方を対象に、就職支援グループ森田リーダーを迎えての情報交換を行います。知って得するお話もあるかも？学内で横の繋がりを作ることで、働きやすい環境を作ってみませんか？12時から会場を開放していますので、ランチの場所としてお越しく下さい。多数のご参加お待ちしております。《お申込み締切り 5月13日(月)》



香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階電話：087(832)1055
内線：1055
FAX：087(832)1057
電子メール：sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
ホムズ：<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

目次：

Afternoon Meeting

Vol.2のご案内.....1

Afternoon Meeting

Vol.1開催報告.....2

OPEN OLIVE HEART2

研究交流会開催報告.....2

保健管理センター教員紹介.....3

コラムアンケート結果から.....3

男女共同参画の取組.....4

新支援員・育成員の紹介...6

室長・副室長の挨拶.....7

学長カフェの成果

環境整備の拡充.....8



olive・heart

~Afternoon Meeting~

集え！非常勤職員の会

顔の見える関係を作り、ネットワークを広げてみませんか？繋がろう、757人の非常勤職員！

- 日時 H25年5月14日(火)12:10~12:55
- 場所 **変更(最終)** キャリアカフェ 大学会館2階
- 対象 非常勤職員
- 主催 男女共同参画推進室
- ゲスト 就職支援グループ 森田リーダー(男女共同参画推進室室員)

☆昼食時12:00~会場を開放。今回はsanukisでお弁当(¥400)を準備しますので、ご希望の方は前日16:00までに男女共同参画推進室(内線:1055/sankaku01@ao.kagawa-u.ac.jp)までお申込みください。

「毎週火曜日はSmile Lunch Day」

毎週火曜日は非常勤職員の方に男女共同参画推進室を開放しています。(講座等の都合によりCloseの場合もあり) 推進室でゆっくりおしゃべりしながらランチをどうぞ。お気軽にご利用ください♪♪

Afternoon Meeting Vol.1 開催報告

日時：平成25年4月22日(月)
12:20~13:00
テーマ：Afternoon Meeting
「歓迎！新任教員の皆さん」
ゲスト：小方朋子先生
(教育学部准教授)

お集まりいただいた先生方
経済学部経営システム学科
大杉奉代 講師
工学部安全システム建設工学科
釜床美也子 助教
工学部知能機械システム工学科
佐藤敬子 助教

ご参加の先生方、

ありがとうございました。



学内の男女共同参画を推進するにあたり、教職員への必要な情報と情報交換の場を提供するために設けられた新企画、『Afternoon Meeting』。

平成25年4月22日、幸町キャンパス研究交流棟において、新任教員の研修会が開催されました。男女共同参画推進室も、学内の制度について説明した「ワーク・ライフ・バランス応援ハンドブック」と男女共同参画推進室のパンフレットで情報提供をさせていただきました。



昼休みは「歓迎！新任教員の皆さん」ということで、男女共同参画推進室でお茶をお出しし、ランチ交流をしていただきました。ゲストに教育学部の小方朋子先生をお呼びして、和やかな時間を過ごしました。若い先生方のやる気にこちらがエンパワメントされました。

アンケートより

- ・教育学部や工学部の先生方とお話する機会が持てたことにも感謝しております。
- ・周りの方々のご支援に感謝して研究活動に邁進致します。
- ・大学内に、このような場所があることは大変心強く思います。

女性のための休憩室

推進室は、ベビーベットや給湯、電子レンジ、冷蔵庫も完備。専用のドアから出入りできます。妊産婦の休憩室、搾乳室としてもご利用いただけます。



OPEN OLIVE HEARTのご案内

Afternoon Meetingと共に4月から始まったのが「OPEN OLIVE HEART」。「OPEN OLIVE HEART」とはお昼の時間帯に教職員の交流の場として男女共同参画室を開放することです。ゆっくりとランチを取りながら、他部署の方とおしゃべりしてみませんか。(ご利用の際は、一声、推進室にご確認ください。)

☆開放時間12:00~13:00☆

ほっとひと息...

毎週火曜 スマイルランチデー非常勤職員専用

毎週水曜 レディースデー(男性の参加も可)

毎週木曜 メンズデー(女性の参加も可)



香川大学女性研究者研究交流会in幸町 開催報告

3月27日(水)幸町キャンパスにて女性研究者研究交流会が開催されました。第一部は香川大学女性研究者による研究交流リレー、第二部はスウェーデンで活躍される鮎恵子教授をお迎えし、スウェーデンでの研究者の環境などについての問題提起を伺いました。25人の参加者は熱心に耳を傾けていました。

スウェーデンでは女性の80%が定年退職まで働くので扶養家族が少なくなり、受けた教育を社会に還元することが、子どものころから当たり前で教育されています。男女の差なく経済力を持つことが自己責任であるとされ、社会意識の発達などが個人の成長を促すことにつながるのです。お互いに協力を惜しまないのだそうです。

研究交流リレーによる他学部・他分野交流を通して、新しい視野と広い視野で研究について考える機会となり、さらに鮎先生のお話を通して、自身の研究環境・キャリアを俯瞰する実りの多い交流会となりました。



香川大学 新任研究者のご紹介 「自分で 後々納得できるキャリア選択を」

保健管理センター医学部分室 永尾 幸 講師

私は、香川医科大学の卒業生です。徳島で生まれ、香川で小中高、そして大学時代を過ごしました。同期の医学部の女性は30人位、その内、1/3程度が今も香川で働いています。医師になろうと思ったきっかけは、実家が開業していたこと、両親から「女性が手に職を持つにはいい職業だから」と勧められたから。内科が専門ですが、東京女子医科大学東洋医学研究所で、研究生として漢方の経験を積みました。

私は、自分の考えや興味に従い紆余曲折しながら今までキャリアを積んできました。その中で実感としてわかってきたことですが、医師の仕事はいわゆる臨床医だけではなく、色々な道があり、この保健管理センターの仕事もその一つです。業種は限られるけれども、バリエーションがある。やり方によっては色々な働き方ができる。けれども、最初のうちはきちんとキャリアを積む必要がある。経験と資格（専門医などのプラスアルファ）を持っていると動きやすくなる。しかしちょうどその時期、女性の場合、結婚や子育てのライフステージと重なって大変というの、同僚を見ていると感じるところです。そのためにも、両立できる環境が整っていること、本人の希望するスタイルの勤務が選べるのが大切だろうと思います。

やり続けるためには、あきらめないのも一つですが、別の道を考えるのも一つの手です。私自身、身体を壊して一時期臨床の仕事から離れていたことがあります。ちょうどその頃、漢方に出会いました。何事も10年続けていると力になるといいますが、私の場合は、振り返ると5年から6年で畑違いの分野に移っています。自分を追い詰め過ぎると苦しくなるので、後悔しないようにそれぞれの仕事をやっていくしかないなあと思います。正解がある訳ではない。自分で後々納得ができるキャリア選択をしていってほしいです。

今回、香川大学の初めての女性限定公募に応募し採用されましたが、私の専門の漢方は、女性のニーズがとても高い。そして、保健管理センターが担う、日常的な健康管理にも漢方の考え方は役に立ちます。看護学科もあり、医学部の女子学生の比率も増えてきています。自分のこれまでの経験を活かせればと思って希望しました。

★医学部キャンパスでは、女性医師の集いが定期的に持たれています。ぜひ、女性医師の輪に加わって、香川大学のためにご活躍ください。(推進室 長安)

コラム アンケート結果から続けて欲しい取組

平成25年1月16日から30日に全学で実施した男女共同参画推進満足度調査より全教職員が定着を望む取組について取上げます。

定着を望む取組として、病児保育施設、休日出勤時の託児、一時保育用託児室が上位項目となっていました。

香川大学ではすでに病児・病後児保育施設が医学部キャンパスに設置されています。医学部キャンパス内のいちご保育園に隣接する形で平成24年4月に開設され、同保育園と同じ委託業者が運営しています。看護師と保育士で病児・病後児の保育を行っており、緊急の場合には、医学部附属病院で対応できることもあり、大変好評です。

現在、医学部地区職員の利用に限定されていますが、利用範囲の拡大に向けて、引き続き要望を出していく予定です。

アンケートでは男女共同参画の推進に向けた取組に対して、さまざまな意見・要望が寄せられました。これらのアイディア等を精査し、より多くの構成員にとって、仕事や研究・教育環境がより素晴らしいものとなるよう、今後の取組に生かしてまいります。

香大に ようこそ



永尾先生と
スタッフの皆さん

保健管理センターの春は大忙しです。健康診断に追われる中取材に応じてくださいました。



全教職員や女性研究者が 定着を望む取組ベスト3

1位 病児・病後児保育施設

女性研究者の
約30%の人が
望んでいます

全教職員の約
20%の人が
望んでいます

2位 休日出勤時の託児

3位 一時保育用託児室





olive·heart

香川大学男女共同参画推進室のロゴマーク「olive・heart」。男女が協力し手を繋いで輪を作った形がオリーブ形になっています。



さんかくん

香川大学ワーク・ライフ・バランスマーク「さんかくん」教育学部大西えい子先生のデザインです。



H24.8サークルでの香大っこサポーターの活躍の様様

このマークの付いたタクシーが「子育てタクシー」です。

四国女性研究者フォーラム

Registration form with fields for E-MAIL, PASSWORD, and a login button.

SNSを開設しています。女性教職員の皆様の情報交換にご利用ください。

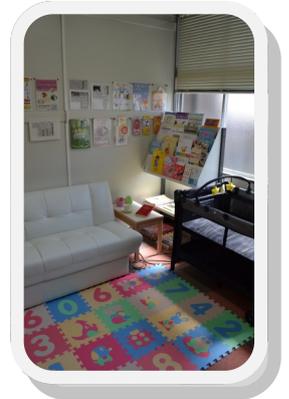
香川大学の男女共同参画の取組

この春、初めて香川大学に足を踏み入れた方も多いと思います。勉強し、働き、研究する場の提供だけでなく、香川大学では「勉強しやすく、働きやすく、研究しやすい」場の提供を実現すべく、男女共同参画推進室がお手伝いをしています。「困っているんだけど…」や「こんなときどうしたら？」にお応えできるよう男女共同参画推進室は頑張っています！

香大っこルーム

学内で託児等に利用できる「香大っこルーム」。ファミリーサポートやベビーシッター、学生の香大っこサポーター等が託児する場に利用していただけます。お部屋の利用は無料です。（別途保険・託児料金は必要）学会の託児等でもご利用いただけます。お気軽に男女共同参画推進室におたずねください。

妊産婦の休憩にもお使いいただけます。ベビーベッドや搾乳機、電子レンジ、ポットなど設備も充実！お子様連れでお気軽にどうぞ。



香大っこサポーター



H23.6養成講座の様子

香川大学の教職員の子どもたち「香大っこ」をみんなで育てていくために、乳幼児及び学童の保育に関心のある学生さんに預かり支援や病児支援、研究補助者支援、事務補助支援をお手伝いしてもらいます。学生さんには事前登録を願ひし、養成講座等の受講が義務付けられています。

病児移送サービス

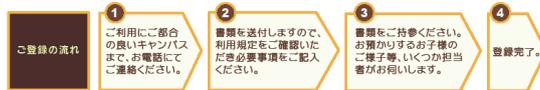
働くパパ・ママお待たせしました！
病児移送サービス が利用しやすくなりました！！

「大事なとっも1日休ませなきゃ」「でも仕事はもう休めない」そんなパパママの緊急事態を、男女共同参画推進室と子育てタクシーが連携しパパママに代わって大切なお子様を病児保育室までお送りします。

Bコース 2,000円+保育料
保育所年長から小学6年生のお子様対象



サービスのご利用には事前登録が必要です



子育てタクシーとは？

小さい子どもを連れての方の荷物や、子どもだけの送迎も安心して任せられるように、子育てタクシー専用の研修と保育実習を修了した「運転士」と「子育て支援」のプロがハンドルを握ります。

利用施設: トビウメ小児科病院 (087-865-3111) / 男女共同参画推進室 (087-832-1055) / ワーク・ライフ・バランス支援室 (087-898-5111)

どうしても仕事が休めない、そんなとき子育てタクシーがお子さんを「トビウメ病児保育室」にお連れします。事前登録が必要ですのでお気軽に男女共同参画推進室までお問い合わせください。

子育てタクシーはチャイルドシートも準備していますので安心です。



研究補助者配置

優れた研究活動を育児・介護等と両立させつつ行おうとする研究者に対して、研究の進捗を図るために研究補助者（研究業務を補助する者）を配置し、当該研究者の研究を支援することを目的とします。これまで述べ46名の研究者が利用し、今年度も17名が利用しています。平成24年度からは、利用範囲を拡大し、男性研究者（配偶者が大学等で研究に従事している男性研究者）や社会科学系の女性研究者への配置が可能になり、多くの方が活用されています。（追加募集の予定有）



H24.12柳田邦男講演会の模様

男女共同参画の理解を深め、意識を高めるための講座を開催しています。昨年度は女性への暴力防止のために「デートDV防止全学研修会」を、男女参画啓発講座として「柳田邦男講演会」を開催。参加者が多くを学べる講座となりました。



全学研修会・啓発講座

キャリアデザイン講座

女子学生の進路選択の幅を広げ、自身のキャリアデザインに取り組む機会を提供する講座を各学部の特徴に合わせた内容で開催しています。多方面で活躍する先輩からの多彩な経験談を聞くことで、新しい分野を主体的に選択し、自己実現を果たすキャリア形成のあり方について、ロールモデル並びにキャリアパスを提供しています。

出前講座



H24.11出前講座の様子

大学や研究機関に携わる自然科学系の女性研究者の割合はまだ低いものです。「あこがれの職業はあるけれど、どんな進路を選べばいいかわからない…」そんな女子高校生向けに自然科学系分野で生き生きと活躍する女性研究者を身近に感じる講座を開催しています。研究と家庭の両立をしている女性研究者を見て、女子高生の進路を考える機会を提供しています。

学長Café

「国際女性の日」を記念し、学内の女性の一層の活躍に向けて、学長と女子学生、女性教職員との懇談会をカフェ形式で開催しました。女性ならではの多様な視点から、香川大学の現状や改革に向けた提案など、それぞれの夢や希望を気軽に語り合い深めあえる場となりました。

大学内の男女共同参画推進にご協力いただいた方々にオリーブハート賞の授与などもあり、おいしいお茶とお菓子で和やかな雰囲気の中、交流ができました。



H24.3学長Caféの模様



H25.1研究補助者対象
ヒアリングの模様



H24.11
デートDV防止全学研修会の模様



H24.4
幸町キャリアデザイン講座の模様



スーパーサイエンスハイスクールの高松第一高等学校で開催されました。





これから1年間、
よろしくお願いいたします

女性研究者支援員・育成員のご紹介

新年度を迎え、推進室では新しい支援員・育成員をお迎えすることになりました。推進事業を進める際にお力をお貸しいただくことになります。授業や研究等、お忙しいと存じますが、よろしくお願いいたします。

女性研究者支援員
教育学部 岡 晋平 教授

昨年に続いて、室員を勤めさせていただくことになりました教育学部の岡晋平です。昨年初めて「男女共同参画」というキーワードに触れてみて、その手触りに少しずつ慣れてきたところです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

女性研究者支援員
法学部 佐川 友佳子 准教授

教員生活も4年目になりましたが、まだまだ分からないことが沢山あり、毎日が勉強です。性別や年齢、家庭によって働く際の悩みも変わってくると思いますので、色々な方の意見を伺い、皆が働きやすい社会を実現するための力になればと思っています。

女性研究者支援員
経済学部 王 維 教授

男女平等に関して国家間の文化的差異があると同時に、日本国内でも都会と地方との差異がある。子供ができると仕事をやめることは地方ではゼミの学生を含めて未だに多く見られる。人生や仕事に関する理念を根本的に大学生から考えてほしい。

女性研究者支援員
医学部 窪田 泰夫 教授

今年一年間も引き続きどうぞよろしくお願い致します。



女性研究者支援員
医学部 清水 裕子 教授

臨床看護学、看護心理学、老年学が専門分野です。3児がそれぞれ医療従事者として修学・独立し、現在は、週末休日に3人の親世代の介護を行いつつ、地域の訪問診療に参加する日々です。また、気分転換は海釣りです。

女性研究者支援員
農学部 伊藤 文紀 教授

農学部的女子学生は増えていますが、女性教員は少ない状況は若干問題があるかと思っています。女性の方々ももっと活躍できるような場を作る一方で、必要なサポートを考えていきたいと思っています。

女性研究者支援員・育成員
連合法務研究科 柴田潤子教授

専門は経済法、強いものに対する規制を専門としています。女性も社会においては依然として弱い立場にあるのと考えています。育児と仕事の両立は大変ですが、自分の立場で感じたことを反映させていけたらと思います。

女性研究者育成員
教育学部 前盛ひとみ 准教授

今の発達心理学のなかでは育児と仕事の両立が子供の発達に及ぼす影響はないと言われていています。子どもの発達に悪影響を及ぼすとすれば、母親がサポートを受けにくい状況であったり、夫婦関係だったり、別の介入要因によるものです女性の仕事での役割と家庭での役割の両方がポジティブに働くようにいけたらと思います。

女性研究者育成員
法学部 平野 美紀 教授

男女共同参画と堅苦しく考えるのではなく、人生のどのようなステージにおいても自分にできることを気持ちよく実行したいと思っています。とはいえ育児中ということもあり助けられるばかり。周囲の方に感謝の毎日です。

女性研究者育成員
経済学部 岡田 徹太郎 教授

香川大学で初めての男性育児休業取得者です。現在、長寿化が進行して家族構成は4世代にわたっていますが（子どもからみると曾祖父母が健在）、直面する育児と介護の両立について探っていきたいと考えています。

女性研究者育成員
医学部 森上 純子 助教

皆様、こんにちは。女性研究者育成員の森上純子です。育成される側の要望をどんどん会議の場に持っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



伝統的建造物の構法の研究や、木造の設計活動を行っております。実務では特に多くの作業時間を要しますが、この分野での女性進出は増加していると感じており、周りの方々のご支援に大変感謝しております。

男女共同参画推進委員は今年で4年目になりました農学部野村です。3年間の間に次世代育成支援、女性研究者採用計画など精力的に行っていました。しかし残念ながら女性研究者支援である研究補助支援制度は年々縮小しています。今後増加が見込まれる女性研究者に対していかに支援するのかが今年度の課題ではないかと思っております。

キャリア支援センターでは、今まで以上に女子学生に特化したガイダンス等の開催、情報提供を行うため、男女共同参画推進室と連携してまいりますので、よろしくお願い致します。

研究担当グループとして、文部科学省に申請予定の女性研究者研究活動支援事業拠点型事業に当たり、少しでもお役に立てたらと考えております。

男女共同参画の目的は、女性への支援だけで終わるのではなく、その女性の活躍により、大学の活性化、社会の活性化が図られることだと思います。また、男性側の理解も得ながら進めることも大切ではないでしょうか。

この度の異動により男女共同参画を担当することになりました松永です。3月までは工学部で会計を担当していました。皆様のご指導をいただきながら業務を進めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

この事業は自然科学系の女性研究者に特化したしぼりのある事業だったので迷惑をかけた部分もありましたが、今年度から男女共同参画が大学全体で進めることができます。今後ともよろしくお願い致します。

4月からお世話になっております。川池と申します。性別や年代にこだわらず、皆さんが働きやすい職場環境が実現できるよう、微力ではありますが、お手伝いできればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

男女共同参画推進室よりご挨拶

香川大学をどういう大学にしたいのかが今後の大きな課題です。男女共同参画や女性が働きやすい環境作り、弱者に優しい大学を目指したいと思います。息の長い活動を続けていきたいと思っておりますので、ご支援よろしくお願ひいたします。

この2年半の男女共同参画推進事業は素晴らしい取組になりました。今年度はこの取組が学内外に浸透、深化し、無理なく継続できる礎を作っていきたいと思っております。男女共同参画推進室が教職員の意見が集まる場所、集まった意見が共有できる場所、そして毎年その内の一つでも二つでも実現できるよう言い続け、行動し、実現できた場合にはその喜びを分かち合える場所にいたしたいと思います。

香大でよかったなと実感できる大学になってほしい。一人ひとりが主役です。あなたがあなたらしく、生き生きと働き、学び続けることを応援します。男女共同参画推進室は、大学の親切係をめざします。なにかお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

香川大学で学び・働く方にとって希望に満ちた環境の実現に向け包括的なサポート、支援を考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

か：軽やかに⇒フットワークを軽く！

わ：和を重んじて⇒協調性を大事に！

だ：弾力的に⇒弾力性・柔軟性のある考え方を！



女性研究者育成員

工学部 釜床 美也子 助教

女性研究者育成員

農学部 野村 美加 准教授

就職支援グループ

森田 英正リーダー

研究協力グループ

谷本 伸夫リーダー

人事グループ

岡本 晃リーダー

給与福利グループ

松永 京一リーダー

給与福利グループ

小西 誠二サブリーダー

給与福利グループ

川池 晃子 チーフ

室長

高木 健一郎 理事

副室長

工学部 石井 明 教授

副室長

長安 めぐみ 特任教授

技術補佐員

川田 靖子



学長への10のお願い

環境の整備

- ①現場の声を反映できる職場づくりを
- ②職位が下の者でも、自由に意見が述べられる機会を
- ③非常勤の医学職員の駐車場料金の負担を軽減してほしい
- ④看護学科の人員を増やしてほしい
- ⑤農学部の子生駐車場の整備を
- ⑥教育学部の改修工事に伴う職場環境の整備を

共同参画

- ⑦非常勤にも安定した雇用の提供をお願いしたい

両立支援

- ⑧研究補助者の配置により本当に助かりました

共同参画

- ⑨香川大学において平等な意識での管理職であってほしい

知ってほしい

- ⑩-1いろいろな先生方や学生さんたちの頑張りを知っていただきたい
- ⑩-2学長との懇談会を定期的開催してほしい
- ⑩-3医学部内でこのような会を開催してほしい 等々



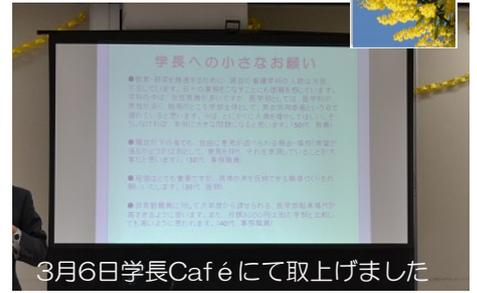
香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

電話：087(832)1055
内線：1055
FAX：087(832)1057
電子メール：
sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
ホムァーヅ：
http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/

学長カフェのお願い成就！

医学部の研究補助者の駐車場料金は免除に
 前回のニュースレターでご紹介した学長カフェ「学長への10のお願い」について朗報です。医学部の駐車場料金について、研究補助者等短時間勤務の非常勤の方への配慮をという声に対して、医学部長への申請によって、認められた場合は、料金の免除が受けられるようになりました。小川監事も気にかけて相談してくださったそうです。医学部長はじめ、関係者の皆様のご配慮で、成就しました。ありがとうございました。



環境整備、進んでいます

ベビーシート設置

平成24年度大学運営特別経費を活用し、研究交流棟と農学部A棟にベビーシートを設置しました。これで、設置3か所になりました。ご利用ください。

研究交流棟 1階



農学部A棟 1階



各学部の休憩室

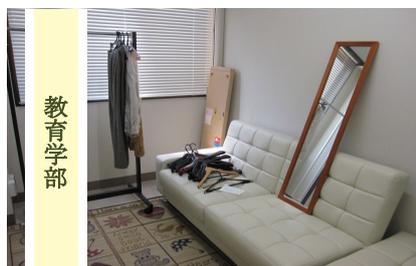
「学内でちょっと休める場所がほしい、各キャンパスに一時保育に活用できる場所を確保してほしい」、そんな声に応えるために休憩室の拡充・整備を進めています。みんなが安心できる部屋にしていきたいものです。



工学部・・・新設しました



本部棟



教育学部



農学部